報道関係者各位

2024 年 8 月 6 日
株式会社セキュア

レジレス無人店舗「SECURE AI STORE LAB 2.0」開業から 1 周年で決済精度 99%（※1）、SKU（※2）数は 2 倍に
AI を活用したリテール DX 推進で省人化運営と万引き対策の両立へ

株式会社セキュア（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：谷口 辰成、証券コード：4264、以下「セキュア」）が運営する SECURE AI STORE LAB 2.0（以下「AI STORE」）は、2024 年 7 月 3 日で開業から 1 周年を迎えました。開業後もハード面、ソフト面ともに実証を重ね、精度向上に努め、取り扱い SKU（※2） 数はオープン当初の 2 倍となり、決済精度（※1）は 99% を超えています。

リテール DX 推進の一手として、AI STORE が実現を目指す活用シーンや、これまでの取り組みについてお知らせします。

（※1）（総購買数ーお客様からの修正依頼数）/ 総購買数　で算出

（※2）ストックキーピングユニット(Stock keeping Unit)の略。在庫管理上の最小の品目数を数える単位を表す。一つのアイテムを、サイズ、パッケージ、カラー、内容量などのより小さい単位で分類したものが SKU

■「SECURE AI STORE LAB 2.0」概要と開発の背景

“SECURE AI STORE LAB 2.0” は、2023 年 7 月 3 日にセキュア本社が入居する新宿住友ビル B1 階にオープンしました。

最新テクノロジーで未来のショッピングを体験いただける無人レジレス店舗です。棚の重量セ

ンサーを使用せず、天井に設置したカメラの映像を AI を用いて解析することで運用できるのが大きな特徴です。
AI STORE は、AI を活用した「実証実験」が行える研究所でもあります。各種の流通小売企業に先駆けて実験店舗をつくることで、導入しやすい適正価格で無人レジレス店舗の設備を開発できるノウハウを獲得することを目的としています。
AI を活用して在庫を把握し、消費者が興味を持ったものの購入に至らなかった商品の分析など、マーケティングにも活用できるようなソリューションの開発・提供を目指しています。

・参考
「ミニストップ ポケットで AI を活用したレジレス店舗実証を開始 ～顧客利便性の高い購買体験と運営効率化を実現したウォークスルー型店舗の商用化をめざす～」
https://secureinc.co.jp/news/detail.html?id=2020

「セキュア、NVIDIA パートナーネットワークに参画 ーAI を活用した DX の推進や自社の AI 開発を加速ー」
https://secureinc.co.jp/news/detail.html?id=1962

「セキュアが運営する無人店舗で NTT 東日本グループ テルウェル東日本との ウォークスルー型店舗商用化に向けた共同実験を開始」
https://secureinc.co.jp/news/detail.html?id=1865

「 SECURE AI STORE LAB 2.0 を新規開発・オープン　AI によるレジレス・無人店舗の運営を実用化」
https://secureinc.co.jp/news/detail.html?id=1696

■今後想定される活用シーン

レジ待ちをなくし、省人化運営を可能に

既存の什器を活用して導入可能な無人レジレス店舗は、今後様々な場所での展開が期待されます。特に混雑する場所において、接客を必要とせずお客様自身で商品を選び決済するようなシーンにおいては、レジ待ちがなくなることで、スムーズで短時間のお買い物が実現するとともに店舗運営の省人化、回転率アップが見込めます。また、カメラ映像の AI 解析で自動決済されるため、万引きの可能性が限りなくゼロとなります。

①スタジアム・ドーム内のグッズショップや売店
スポーツの試合やコンサートなどが行われるスタジアムやドームで、公式グッズや飲料、軽食をレジレス無人店舗にすることでレジ列が解消されます。運営側は商品の補充タイミングをカメラ映像を通して遠隔で確認できます。

②スーパーマーケット、食料品店
店舗の一角を無人レジレス店舗にし、日用品や飲料、菓子など購入頻度が高い商品を陳列することで店内と無人店舗のダブルで売上を立てられるだけでなく、無人店舗のみ 24 時間営業にすることも可能です。

③コンビニエンスストア
有人レジ、セルフレジで課題となっている、人手不足、万引きによる商品ロスを同時に解消します。お客様はより短時間でのお買い物が可能です。

④ショッピングモール等の商業施設
無人店舗を POP UP SHOP にすることで時節に合わせた商品展開を販売員なしで運営できます。施設側は複数店舗のよく売れる商品を一つの店舗に集めたり、地域のブランドを試験的に導入したりと、実証実験場所のような活用も見込めます。

⑤移動型コンテナ（イベント会場）
イベント会場にて臨時のコンテナ店舗を設置する際、レジ対応人員なしで 24 時間店舗を運営できます。カメラの映像と決済データから在庫把握が可能なため、商品補充を最小限に抑えることができます。

■重量センサーを用いず映像解析のみで運営するメリット
重量センサーが無くなることで、什器側の制約が低減でき、店舗デザインの選択肢を広げられます。また、センサー数が大幅に減ることでメンテナンスの頻度等、保守運用のコストを低減できます。
お客様が商品を違う棚に戻した場合等も映像解析で認識できるため、今まで無人店舗の制約となっていた手間や性善説に頼っていた運用の問題等、重量センサーを用いた方式では解決できなかった課題を減らせています。

■開業後から現在までの取り組み
①決済精度
［(総購買数ーお客様からの修正依頼数) / 総購買数 ］でお買い物内容が正しく認識された割合を出しています。決済精度が上昇した要因として、システム調整を重ねたことで動作が安定したことが挙げられます。
・オープン当初 4 カ月間（2023 年 7 月～10 月）：修正対応率 4.8%　決済精度 95.20%
・直近 4 カ月間（2024 年 4 月～7 月）：修正対応率 0.95%　**決済精度 99.05%**

②展開 SKU 数
・オープン当初：約 150
・現在：約 300　※季節や実証実験等で変動あり

③展開商品カテゴリー
・オープン当初　：軽食、菓子、日用雑貨、常温飲料
・現在：上記に冷蔵商品（コーヒー、ジュース、ゼリー等）の取扱を追加

■今後の展開
コンビニエンスストアやショッピングモールなど、人手不足に悩む小売業界の企業様とともに、無人レジレス店舗運用の実証実験、その後の本格導入に取り組みます。セキュアが目指す安心安全でスマートな社会作り実現のため、そして社会課題解決の一つの手段として、AI STORE 運営を通してさらに技術力や運営ノウハウを磨いてまいります。

■ セキュアについて

会社名 ： 株式会社セキュア

所在地 ： 〒163-0220　東京都新宿区西新宿二丁目 6 番 1 号　新宿住友ビル 20 階

代表者 ： 代表取締役社長　谷口 辰成

設　立 ： 2002 年 10 月 16 日

URL ： https://secureinc.co.jp/

「AI×セキュリティで新しい価値を創る」をビジョンに掲げ、入退室管理システムや監視カメラシステムに、AI（画像認識）技術を掛け合わせた付加価値の高いセキュリティソリューションを提供しています。顔認証による入退室管理システムでは、2020 年、2021 年、2022 年と 3 年連続マーケットシェア No.1 を獲得（数量ベース）。中小から大手企業まで過去 10,000 社以上の導入実績があり、性能・コスト・安定性を考慮したシステムの設計や設置環境までの最適化をサポート。あらゆる空間の安心・安全と最適なソリューションをご提案します。

＜報道関係者からのお問合せ先＞

株式会社セキュア　広報：栢菅（かやすが）・谷村（やむら）

お問合せフォーム： https://ubique.secureinc.co.jp/l/1006202/2023-01-21/mc2/?